

令和3年度

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団
事業の計画に関する書類

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

目 次

令和3年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針	1
II 事業計画	1

令和3年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書

I 収支予算書	5
II 収支予算内訳表	7
資金調達及び設備投資の見込みについて	9

令和3年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針

本財団は、平成26年4月1日の設立以来、7年の間に市民主体の幅広い国際交流活動を積極的に実施し、国際都市鹿児島の発展に寄与してきました。

また、昨年4月に開館したかごしま国際交流センターの交流施設部分（鹿児島市国際交流センター）の指定管理者として管理運営を行っており、新型コロナウイルス感染症の影響で施設の利用休止や事業の中止、延期、見直しなどを余儀なくされましたが、様々な対策を行うことにより事業の実施や施設の貸出しを進めてきました。

鹿児島市においては、令和4年度から始まる新しい総合計画の策定が進められており、本財団としても、中長期的な視点でより実効性のある事業を展開する必要があります。

そのためには国際交流関係団体、在住外国人グループ等との連携強化やボランティアを含む国際交流事業への参加者増に向けた取組、かごしま国際交流センターの利用促進などが重要になってきます。

これらのことを踏まえ、令和3年度におきましても、本財団の設立目的を達成するために定款に定められた「1国際交流の推進」、「2国際理解の推進」、「3国際協力の推進」、「4多文化共生の地域づくりの推進」、「5鹿児島市国際交流センターの管理運営」に係る各種事業に、賛助会員をはじめ多くの市民や在住外国人、関係団体の方々と連携を深めながら積極的に取り組んでまいります。

II 事業計画

1 国際交流の推進

(1) 市民と在住外国人との交流促進事業

○在住外国人との歓迎交流会

新入在住外国人の歓迎やかごしま国際交流センターの居住留学生と市民との交流を図る場を提供することを目的として、交流会を開催する。

○市民と在住外国人との1日ツアー

市民と在住外国人と一緒に鹿児島県内の史跡や観光施設等を巡りながら、鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施する。

○在住外国人ホームビジット

在住外国人が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうと同時に、受入家庭には外国出身者との交流を深めてもらうことを目的として、宿泊を伴わない短時間のホームステイを実施する。

(2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

○かごしまアジア青少年芸術祭

青少年の国際性を育み、市民の国際交流意識の高揚を図ることを目的として、アジア各国・地域と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める芸術の祭典を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、オンラインでの交流イベント実施を検討する。

○姉妹友好都市等からの来訪者の受入れ対応

姉妹友好都市等からの来訪者の受入れに当たり、滞在中の交流の充実を図ることを目的として、市と連携してホームステイの斡旋や随行案内等を実施する。

(3) 国際交流人材の育成事業

○ボランティア勉強会

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図ることを目的として、各種勉強会を開催する。

○運営ボランティアの活用

事業運営に協力してもらうボランティアを募集し、運営に協力してもらうとともに、経験豊富なボランティアに事業運営の一定部分を任せる体制を構築するため検討を行う。

○国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題などについての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会（事業実施委員会）を開催する。

○登録団体交流会

鹿児島市国際交流センターの登録団体の相互理解や連携を深めることを目的として、活動内容の紹介や意見交換の交流会を開催する。

2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

○異文化体験講座

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目的として、在住外国人等を講師に招き、外国語を介した体験型講座を開催する。

○国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー（C I R）等による企画イベントを開催する。

○異文化紹介イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、鹿児島大学留学生会による異文化紹介イベント等を支援する。

○絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語（英語、韓国語、中国語等）による読み聞かせを実施する。

○日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本の文化や実際に生活する鹿児島の文化への理解を深めてもらうことを目的として、体験型イベントを開催する。

○「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」関連事業

アジアへの理解を深め交流を進めることを目的として、留学生等が講師になり、アジアの国々や文化を紹介するなどアジアに特化した事業を実施する。

○鹿児島市国際交流センター和室活用事業

日本文化を理解してもらうことを目的として、鹿児島市国際交流センター和室を活用したイベント等を実施する。

○鹿児島市国際交流センター調理室活用事業

食を通して外国及び日本に関する理解を深めてもらうことを目的として、鹿児島市国際交流センター調理室を活用したイベント等を実施する。

(2) 広報・情報発信事業

○多言語情報誌の発行

外国人の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザー（C I R）や在住外国人の企画・編集により、時宜を得た旬の情報を多言語表記（英語、韓国語、中国語）で発行する。

○ホームページの多言語化情報の提供

当財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、ホームページを作成し、多言語表記（英語、韓国語、中国語）で発信する。

○各種イベントへの協力・広報活動

当財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、他団体が実施するイベントへの協力及び展示物の出展などによる広報活動を実施する。

○広報誌（K I E Xなび）の発行

財団事業に関する情報等をより効果的に発信することを目的として、広報誌（K I E Xなび）を発行する。

3 国際協力の推進

国際協力活動事業

○国際協力講演会

国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催する。

○青年海外協力隊員報告会

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、青年海外協力隊経験者を招き報告会を開催する。

○国際協力体験イベント

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、国際協力機構（J I C A）等と連携し体験型講座を開催する。

4 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化共生地域づくり推進事業

○在住外国人のための生活情報勉強会

鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催する。

○在住外国人のための防災意識啓発活動

鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識を啓発することを目的として、消防関係機関等と連携し、訓練や体験型講座等を実施する。

○子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、さまざまな国籍の子どもと一緒に楽しめる交流会を開催する。

○地域との連携事業

多文化共生の地域づくりを推進し、地域の共生意識の醸成を図ることを目的として、地域住民の日本人や外国人と連携したイベントを開催する。

(2) 在住外国人支援事業

○在住外国人のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、

マンツーマン方式により日本語習得の支援を実施する。

○日本語支援プロジェクトワーク

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、外国人と日本人のグループが課題となるテーマについて日本語で協議し、解決策を見出すプロジェクトワークを行う。

○日本語支援ボランティア養成

日本語習得を支援することを目的として、日本語支援ボランティアを養成する講座を開催する。

○外国人相談事業

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施する。また、日常的に市民や外国人からの国際交流や生活に関する相談に対応する。

○災害時外国人対応研修会

災害時における在住外国人の避難行動を支援することを目的とした研修会を開催する。

○災害時通訳ボランティアの登録・育成事業（地域防災計画関連）

災害時に多言語での情報発信や、在住外国人の支援を行う通訳ボランティアを登録・育成することを目的とした研修会や登録会を実施する。

○多言語交流会

在住外国人同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる言語別の交流会を開催する。

○テーマ別交流会

共通の悩みを持つ在住外国人同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、テーマ別の交流会を開催する。

5 鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業

指定管理者制度に基づき、鹿児島市から管理受託する鹿児島市国際交流センターの維持管理及び運営を実施する。利用者が安全かつ快適に利用できるよう適切に管理するとともに、市民の平等利用、市民サービスの向上に努め、財団の目的を達成するために同センター内で定款に定める事業を実施し、合わせて、同センター内の研修室等を貸し出し、市民による国際交流事業等を促進する。

6 利用者サービス事業

鹿児島市国際交流センター利用者の利便性を図るため、館内に自動販売機を設置する。

令和3年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書

I 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：千円）

科目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,293	1,329	△ 36
賛助会員受取会費	1,293	1,329	△ 36
事業収益	708	867	△ 159
事業収益	630	770	△ 140
収益事業収益	78	97	△ 19
受託事業収益	73,668	74,034	△ 366
受託事業収益	0	97	△ 97
指定管理受託事業収益	73,668	73,937	△ 269
受取補助金等	2,241	2,374	△ 133
受取負担金	2,241	2,374	△ 133
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	6	6	0
受取利息	6	6	0
経常収益計	77,916	78,610	△ 694
(2) 経常費用			
事業費	65,565	65,972	△ 407
役員等報酬	1,427	1,694	△ 267
給料手当	33,255	31,995	1,260
退職給付費用	825	830	△ 5
福利厚生費	5,125	4,969	156
会議費	17	17	0
旅費交通費	13	176	△ 163
通信運搬費	476	747	△ 271
消耗品費	1,772	1,252	520
消耗什器備品費	0	100	△ 100
印刷製本費	1,061	1,050	11
光熱水料費	6,429	6,427	2
使用料・賃借料	140	724	△ 584
保険料	184	240	△ 56
租税公課	4	21	△ 17
手数料	135	138	△ 3
報償費	2,204	1,630	574
負担金・補助金	2,764	3,101	△ 337
委託料	9,477	10,604	△ 1,127
減価償却費	257	257	0
管理費	12,637	12,924	△ 287
役員等報酬	2,641	3,023	△ 382
給料手当	2,870	2,837	33
福利厚生費	899	926	△ 27
会議費	10	17	△ 7
旅費交通費	0	146	△ 146
通信運搬費	598	516	82
消耗什器備品費	0	330	△ 330
消耗品費	616	547	69
修繕費	585	35	550
印刷製本費	646	633	13
燃料費	35	0	35

科目	当年度	前年度	増減額
光熱水料費	713	713	0
使用料・賃借料	1,219	1,209	10
保険料	6	115	△ 109
租税公課	50	27	23
手数料	439	363	76
負担金・補助金	347	417	△ 70
委託料	934	1,041	△ 107
減価償却費	29	29	0
経常費用計	78,202	78,896	△ 694
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 286	△ 286	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 286	△ 286	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	93	△ 93
当期経常外増減額	0	△ 93	93
当期一般正味財産増減額	△ 286	△ 379	93
一般正味財産期首残高	2,944	3,323	△ 379
一般正味財産期末残高	2,658	2,944	△ 286
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0
III 正味財産期末残高	5,658	5,944	△ 286

II 収支予算内訳表（正味財産増減計算書ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：千円）

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	1,293			1,293
賛助会員受取会費	1,293			1,293
事業収益	630	78		708
事業収益	630			630
収益事業収益	0	78		78
受託事業収益	61,060		12,608	73,668
指定管理受託事業収益	61,060		12,608	73,668
受取補助金等	2,241			2,241
受取負担金	2,241			2,241
受取地方公共団体補助金	0			0
受取寄付金	0			0
受取寄付金	0			0
雑収益	6			6
受取利息	6			6
経常収益計	65,230	78	12,608	77,916
(2) 経常費用				
事業費	65,541	24		65,565
役員等報酬	1,427			1,427
給料手当	33,255			33,255
退職給付費用	825			825
福利厚生費	5,125			5,125
会議費	17			17
旅費交通費	13			13
通信運搬費	476			476
消耗品費	1,772			1,772
消耗什器備品費	0			0
印刷製本費	1,061			1,061
光熱水料費	6,418	11		6,429
使用料・賃借料	127	13		140
保険料	184			184
租税公課	4			4
手数料	135			135
報償費	2,204			2,204
負担金・補助金	2,764			2,764
委託料	9,477			9,477
減価償却費	257			257
管理費			12,637	12,637
役員等報酬			2,641	2,641
給料手当			2,870	2,870
福利厚生費			899	899
会議費			10	10
旅費交通費			0	0
通信運搬費			598	598
消耗什器備品費			0	0
消耗品費			616	616
修繕費			585	585
印刷製本費			646	646
燃料費			35	35

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
光熱水料費			713	713
使用料・賃借料			1,219	1,219
保険料			6	6
租税公課			50	50
手数料			439	439
負担金・補助金			347	347
委託料			934	934
減価償却費			29	29
経常費用計	65,541	24	12,637	78,202
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 311	54	△ 29	△ 286
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 311	54	△ 29	△ 286
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 311	54	△ 29	△ 286
他会計振替額	27	△ 27	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 284	27	△ 29	△ 286
一般正味財産期首残高	△ 481	40	3,385	2,944
一般正味財産期末残高	△ 765	67	3,356	2,658
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	0	0	3,000
指定正味財産期末残高	3,000	0	0	3,000
III 正味財産期末残高	2,235	67	3,356	5,658

資金調達及び設備投資の見込みについて
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

令和3年度中に借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

令和3年度中に設備投資の予定はありません。

以 上